

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2016年5月 相談集計報告

○全体の特徴

■5月19-20日に「女性のための全国一斉労働相談」（最終集計542件）を実施したこともあり、全体件数は1427件と前年同月より382件増え、女性からの相談は6割弱であった。

■前年同月と比べて、年代別では50代（22.8%）・60代（10.9%）からの相談がそれぞれ2ポイント以上増えた。また雇用形態別では、パートで働いている人からの相談が266件（19.8%）となり、前年同月より117件、4.3ポイント増えた。業種別では「サービス業」（19.0%）が最も多く、次いで「医療・福祉」（17.9%）、「製造業」（13.3%）と続く。相談内容別では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が約2割を占め、最も多くなっている。

■パワハラ・嫌がらせに関する相談が増えている。具体的には「ミスをするとう店長が大声でどなったり、時にはものをけったり大きい音を立てたりする」「店長から言葉によるパワハラを受けており、出社することを考えると手が震えることもある」「園長の暴言がひどい。また、有給休暇を取得すると慰労金が受け取れなくなる」といった相談がサービス業や医療・福祉の現場において散見された。

		2016年		2015年			
集計対象期間		5月1日～5月30日		5月1日～5月30日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,427		1,045			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	617	43.3%	男性	530	52.6%	
	女性	808	56.7%	女性	477	47.4%	
年代 (不明除く)	10代	4	0.4%	10代	4	0.5%	
	20代	110	10.3%	20代	104	13.5%	
	30代	240	22.5%	30代	182	23.6%	
	40代	336	31.4%	40代	244	31.7%	
	50代	244	22.8%	50代	156	20.3%	
	60代	117	10.9%	60代	64	8.3%	
	70代	18	1.7%	70代	16	2.1%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	646	48.2%	正社員	527	54.7%	
	パート	266	19.8%	パート	149	15.5%	
	アルバイト	84	6.3%	アルバイト	63	6.5%	
	派遣社員	88	6.6%	派遣社員	56	5.8%	
	契約社員	133	9.9%	契約社員	73	7.6%	
	嘱託社員	18	1.3%	嘱託社員	8	0.8%	
	臨時・非常勤職員	9	0.7%	臨時・非常勤職員※	7	0.7%	
	その他	97	7.2%	その他	81	8.4%	
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	198	19.0%	医療・福祉	113	16.5%
	2位	医療・福祉	187	17.9%	サービス業(他に分類されないもの)	109	16.0%
	3位	製造業	139	13.3%	製造業	103	15.1%
	4位	卸売・小売業	132	12.7%	卸売・小売業	86	12.6%
	5位	運輸業	74	7.1%	運輸業	62	9.1%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	257	18.0%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	117	11.3%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	122	8.5%	解雇・退職強要・契約打切	109	10.6%
	3位	雇用契約・就業規則	104	7.3%	退職金・退職手続	81	7.9%
	4位	退職金・退職手続	91	6.4%	雇用契約・就業規則	69	6.7%
	5位	年次有給休暇	74	5.2%	不払い残業、休日手当、割増賃金未払	53	5.1%